

1 英語英米文化学科 卒業要件

本学に4年以上在学し、履修方法に従って所定の単位を修得しなければなりません。概略を表にすると次のとおりとなります。16頁以降に各区分の履修方法が記載されていますので、よく読んで間違いのないように履修してください。

また、以下のことにも注意して計画的に単位を修得してください。

- ・2年次外国語を履修するためには、必要な単位を1年次に修得しなければなりません。詳細は21頁に記載してあります。
- ・2年次終了時点で、卒業に必要な修得単位が28単位未満かつ、履修登録単位制限の緩和措置対象とならない等の場合には、4年間での卒業が不可能となります。
- ・4年次の必修科目である「卒業論文」を履修するには、3年の在学期間を充足した上で、必要な科目と単位を修得しなければなりません。詳細は44頁に記載してあります。なお、3年次終了時点で卒業論文履修資格を満たさない場合は、4年間での卒業が不可能となります。

[英語英米文化学科]

| 区分 | 修得すべき 単位数 | 内訳 | | |
|-------|----------------|---|---|--|
| 総合科目 | 20単位 | 6分野(A～F)すべてからセクションを問わず最低2単位を修得し(計12単位)、さらに分野を問わず8単位以上修得すること。ただし、実践セクションの科目を必ず1科目(1単位)以上含むこと。 | | |
| 外国語科目 | 14単位 | 必修外国語(英語) | 12単位 | |
| | (自由選択) | 選択外国語Ⅰ(学科指定) (英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語)*英語強化クラス所属者は英語しか選択できません。英語強化クラスに所属していない者は英語を選択できません。 選択外国語Ⅱ(修得単位は総合科目の「分野を問わない8単位」に含めることができる) 英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、中国語、韓国・朝鮮語 | 2単位 - | |
| 専門科目 | 20単位 | (指定された人文学部の他学科の専攻科目、他学部の専門科目などより選択) ※「学芸員課程関連科目」の修得単位は、8単位まで共通専門科目に算入することができる。 ※「日本語ワークショップ」は、8単位まで共通専門科目に算入することができる。 ※「GCドイツ語」「GCフランス語」「GC中国語」「GC韓国・朝鮮語」及び「ドイツ語／フランス語実習科目」を除く(これらの修得単位を卒業に必要な単位のうちに含めることはできない)。 | | 20単位 |
| | | 専攻基礎科目 14単位 | 必修科目 | 英語英米文化基礎ゼミナール1 英語英米文化基礎ゼミナール2 英語ワークショップ1 英語ワークショップ2 2年次ゼミナール1 2年次ゼミナール2 |
| | 選択科目(実習) | | 4単位 | |
| | 専攻専門科目 56単位 | 必修科目 | 卒業論文 卒業論文ゼミナール1 卒業論文ゼミナール2 | 4単位 2単位 2単位 |
| 選択科目 | | | 分野①～④の講義 ※「教職の教科に関する概説科目」を除く 分野①～④の演習、フィールドワークゼミナール、 卒業論文準備ゼミナール | 34単位 14単位 |
| 合計 | 124単位 | | | |

※以下の科目に関しては、同じ科目を重複して履修することができます。重複履修をした場合、2度目以降の修得単位も卒業要件に算入できます。ただし、一部の共通専門科目の合計修得単位数には上記の制限があります。

- ・共通専門科目の「GHゼミナール」「日本語ワークショップ」及びGlobal Challenge分野の科目
- ・専攻基礎科目の選択科目(実習)
- ・専攻専門科目の選択科目(ゼミナール) ※ただし、「卒業論文準備ゼミナール」は除く

【注意】

表の合計124単位は最小限必要な単位数であり、これ以上の単位を余裕をもって履修することを勧めます。

1 ヨーロッパ文化学科 卒業要件

本学に4年以上在学し、履修方法に従って所定の単位を修得しなければなりません。概略を表にすると次のとおりとなります。62頁以降に各区分の履修方法が記載されていますので、よく読んで間違いのないように履修してください。

また、以下のことにも注意して計画的に単位を修得してください。

- ・2年次外国語を履修するためには、必要な単位を1年次に修得しなければなりません。詳細は67頁に記載してあります。
- ・2年次終了時点で、卒業に必要な修得単位が28単位未満かつ、履修登録単位制限の緩和措置対象とならない等の場合には、4年間での卒業が不可能となります。
- ・4年次の必修科目である「卒業論文」を履修するには、3年の在学期間を充足した上で、必要な科目と単位を修得しなければなりません。「卒業論文ゼミナール登録届」の提出も必要です。詳細は89頁に記載してあります。なお、3年次終了時点で卒業論文履修資格を満たさない場合は、4年間での卒業が不可能となります。

[ヨーロッパ文化学科]

| 区分 | 修得すべき 単位数 | 内訳 | | |
|-------|--------------|--|---|--|
| 総合科目 | 20単位 | 6分野(A～F)すべてからセクションを問わず最低2単位を修得し(計12単位)、さらに分野を問わず8単位以上修得すること。ただし、実践セクションの科目を必ず1科目(1単位)以上含むこと。 | | |
| 外国語科目 | 20単位 | 必修外国語(英語) | 2単位 | |
| | | 選択外国語Ⅰ(学科指定) | | |
| | | (1A) ドイツ語、フランス語 | 4単位 | |
| | | (1B) ドイツ語、フランス語、英語 | 10単位 | |
| | | (2) ドイツ語、フランス語、英語、イタリア語 | 4単位 | |
| | (自由選択) | 選択外国語Ⅱ(修得単位は総合科目の「分野を問わない8単位」に含めることができる) 英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、中国語、韓国・朝鮮語 | | |
| 専門科目 | 共通専門科目 | 24単位 | | |
| | | (指定された人文学部の他学科の専攻科目、他学部の専門科目などより選択) ※「学芸員課程関連科目」の修得単位は、8単位まで共通専門科目に算入することができる。 ※「GCドイツ語」「GCフランス語」は各10単位まで、「GC英語」は16単位まで、「GC中国語」「GC韓国・朝鮮語」は各8単位まで、修得単位を共通専門科目に算入することができる。 ※「日本語ワークショップ」は、8単位まで共通専門科目に算入することができる。 | | |
| | 専攻科目 | 専攻基礎科目 6単位 | 必修科目 | ヨーロッパ文化入門講座 2単位 ヨーロッパ文化基礎ゼミナール1 2単位 ヨーロッパ文化基礎ゼミナール2 2単位 |
| | | 専攻専門科目 54単位 | 必修科目 | 中級ゼミナール1 2単位 中級ゼミナール2 2単位 卒業論文 4単位 卒業論文ゼミナール1 2単位 卒業論文ゼミナール2 2単位 |
| | | 選択科目 | 実習 4単位 専門ゼミナール 8単位 講義①～⑥、卒業論文準備ゼミナール 30単位 ※⑤「教職の教科に関する概説科目」の修得単位は、4単位まで算入することができる。 | |
| 合計 | 124単位 | | | |

※ 共通専門科目のうち、「GHゼミナール」「日本語ワークショップ」「GCドイツ語」「GCフランス語」「GC英語」「GC中国語」「GC韓国・朝鮮語」については、同じ科目を重複して履修することができます。この場合、2度目以降の修得単位も卒業に必要な単位に算入できます。ただし、「GHゼミナール」を除く各科目の合計修得単位数には上記の制限があります。

【注意】

表中の単位数は最小限必要な単位数であり、余裕をもってより多くの科目を履修することを勧めます。

1 日本・東アジア文化学科 卒業要件

本学に4年以上在学し、履修方法に従って所定の単位を修得しなければなりません。概略を表にすると次のとおりとなります。**113頁以降**に各区分の履修方法が記載されていますので、よく読んで間違いのないように履修してください。また、以下のことにも注意して計画的に単位を修得してください。

- ・2年次外国語を履修するためには、必要な単位を1年次に修得しなければなりません。詳細は**118頁**に記載してあります。
- ・2年次終了時点で、卒業に必要な修得単位が**28単位未満**かつ、履修登録単位制限の緩和措置対象とならない等の場合には、4年間での卒業が不可能となります。
- ・4年次の必修科目である「卒業論文」を履修するには、**3年の在学期間**を充足した上で、必要な科目と単位を修得しなければなりません。「卒業論文ゼミナール登録届」の提出も必要です。詳細は**139頁**に記載してあります。なお、3年次終了時点で卒業論文履修資格を満たさない場合は、4年間での卒業が不可能となります。
- ・学科の「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」の代わりに、「卒業論文ゼミナール1（人間・環境）」「卒業論文ゼミナール2（人間・環境）」を履修し単位を修得することによっても、卒業要件を満たすことができます（**152頁**参照）。

[日本・東アジア文化学科]

| 区分 | 修得すべき 単位数 | 内 訳 | | |
|-------|--------------|--|--|---|
| 総合科目 | 20 単位 | 6 分野（A～F）すべてからセクションを問わず最低 2 単位を修得し（計 12 単位）、さらに分野を問わず 8 単位以上修得すること。ただし、実践セクションの科目を必ず 1 科目（1 単位）以上含むこと。 | | |
| 外国語科目 | 12 単位 | 必修外国語（1）（2）（英語） 4 単位 選択外国語Ⅰ（1）（2）（学科指定） （英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語、日本語） 8 単位 | | |
| | （自由選択） | 選択外国語Ⅱ（修得単位は総合科目の「分野を問わない 8 単位」に含めることができる） 英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、中国語、韓国・朝鮮語、日本語 | | |
| 専門科目 | 共通専門 科目 | 24 単位 | （指定された人文学部の他学科の専攻科目、他学部の専門科目などより選択） ※「学芸員課程関連科目」の修得単位は、8 単位まで共通専門科目に算入することができる。 ※「GC ドイツ語」「GC フランス語」は各 10 単位まで、「GC 英語」「GC 中国語」「GC 韓国・朝鮮語」は各 16 単位まで、修得単位を共通専門科目に算入することができる。 ※「日本語ワークショップ」は、8 単位まで共通専門科目に算入することができる。 | |
| | 専攻科目 | 68 単位 | 専攻基礎科目 4 単位 | 必修 科目 日本・東アジア文化基礎ゼミナール 1 2 単位 日本・東アジア文化基礎ゼミナール 2 2 単位 |
| | | 専攻専門科目 64 単位 | 必修 科目 卒業論文 4 単位 卒業論文ゼミナール 1 2 単位 卒業論文ゼミナール 2 2 単位 | 選択 科目 専門科目（講義） ①「ことば・文学・思想」4 単位以上 ②「芸術・身体・環境」4 単位以上 ③「歴史・民俗・宗教」4 単位以上 ——3 分野すべてを履修 ※⑤「Global Challenge 関連科目」は 8 単位まで、⑥「教職の教科 に関する概説科目」は 4 単位まで、算入することができる |
| | | | 専門科目（演習・実習） ①「ことば・文学・思想」 ②「芸術・身体・環境」 ③「歴史・民俗・宗教」 ④「スキル科目」 ——うち 3 分野以上（各分野 4 単位以上） ※⑤「Global Challenge 関連科目」は 4 単位まで算入することができる | |
| 合 計 | 124 単位 | | | |

※ 以下の科目に関しては、同じ科目を重複して履修することができます。重複履修をした場合、2 度目以降の修得単位も卒業要件に算入できます。ただし、一部の共通専門科目の合計修得単位数には上記の制限があります。

- ・共通専門科目の「GH ゼミナール」「日本語ワークショップ」及び Global Challenge 分野の科目
- ・専門科目（演習・実習） ※ただし、④「スキル科目」は「卒業論文準備ゼミナール」を除いて重複履修することができない。

【注意】

表の合計 124 単位は最小限必要な単位数であり、これ以上の単位を余裕をもって履修することを勧めます。